慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	図的推論ワークショップ : 認知科学・ 論理学・ 哲学の観点から
Sub Title	Diagrammatic reasoning workshop: from the viewpoints of cognitive science, logic, and philosophy
Author	佐藤, 有理(Sato, Yuri)
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム人文科学分野論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2009
Jtitle	活動報告書 Vol.3, (2009.) ,p.38- 38
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	第2章 : シンポジウム等の活動報告
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002002-20100300-0038

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

14 図的推論ワークショップ：認知科学・論理学・哲学の観点から
Diagrammatic Reasoning Workshop: from the viewpoints of Cognitive Science, Logic, and philosophy

開催日　2010年２月24日
企　画　論理・情報班、慶應義塾大学「論理学とオントロジーオープンリサーチセンター」
講演者　稲岡大志（神戸大学）、下嶋篤（同志社大学）、竹村亮・佐藤有理・峯島宏次（論理・情報班）

2010年２月24日、三田キャンパス東館セミナー室において、「図的推論ワークショップ：認知科学・論理学・哲学の観点から」という表題のワークショップが、慶應義塾大学「論理学とオントロジーオープンリサーチセンター」論理学部門と、慶應義塾大学グローバル COE プログラム「論理と感性の先端的教育研究拠点」論理・情報班の共催で開催されました。

図的推論とは、図形をはじめとするグラフィック表現を利用しながら行う推論のことをいいます。今回のワークショップでは、認知科学、論理学、哲学といった異なる分野の研究者が集まり、それぞれの観点から、さらにはそれらの複合的な観点からの講演・発表 を行いました。

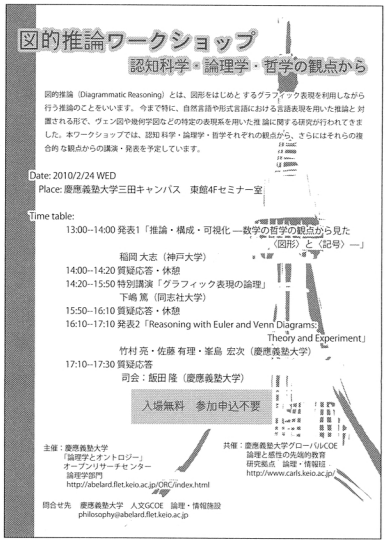
まずはじめに、数学の哲学の研究者である稲岡大志氏（神戸大学）が、「推論・構成・可視化―数学の哲学の観点から見た〈図形〉と〈記号〉―」という表題で発表されました。ユークリッド幾何学について従来のヒルベルト的形式化とは異なり、図形を正当な構文論的対象とみなして形式化を行う試みについて考察されました。

次に、図的推論についての認知科学研究の第一人者である下嶋篤教授（同志社大学）が、「グラフィック表現の論理」という表題で特別講演をされました。講演の前半では、グラフィック表現の機能的特徴について意味論的見地からいくつかの一般化を提供されました。講演の後半では、ご自身が行われている eye-tracker を使った実験について紹介し、グラフィック表現の研究において意味論的アプローチと認知心理学的アプローチがいかに融合しうるかについて考察されました。

最後に、竹村亮・佐藤有理・峯島宏次（慶應義塾大学論理・情報班）が「Reasoning with Euler and Venn Diagrams: Theory and Experiment」という表題で、図形推論研究分野において盛んに研究されている Euler 図や Venn 図の論理学的・認知科学的な性質についての研究成果を発表しました。

（佐藤有理）

On February 24, 2010, a workshop had been going on, which was organized by Open Research Centre for Logic and Formal Ontology and CARLS.
It had a title “Diagrammatic Reasoning Workshop: from the viewpoints of Cognitive Science, Logic, and Philosophy.” The central themes of the workshop was to acquire a broad perspective for understanding logical and geometrical reasoning with diagrams, building on insights from Cognitive Science, Logic, and Philosophy.
Followings are topics of the workshop. “Inference, Construction, and Visualization: diagrams and symbols from the viewpoints of philosophy of mathematics” (Hiroyuki Inaoka, Kobe Univ.), “A Logic of Graphical Representations” (Atsushi Shimojima, Doshisha Univ.), and “Reasoning with Euler and Venn Diagrams: Theory and Experiment” (Ryo Takemura, Yuri Sato, and Koji Mineshima, Keio Univ.).


図的推論ワークショップ
認知科学・論理学・哲学の観点から

図的推論（Diagrammatic Reasoning）とは、図形をはじめとするグラフィック表現を利用しながら行う推論のことをいいます。今まで特に、自然言語や形式言語における言語表現を用いた推論と対置される形で、ヴェン図や幾何学図などの特定の表現系を用いた推論に関する研究が行われてきました。本ワークショップでは、認知科学・論理学・哲学それぞれの観点から、さらにはそれらの複合的な観点からの講演・発表を予定しています。

Date: 2010/2/24 WED
Place: 慶應義塾大学三田キャンパス　東館4Fセミナー室

Time table:
13:00--14:00 発表1「推論・構成・可視化 ―数学の哲学の観点から見た〈図形〉と〈記号〉―」
稲岡 大志（神戸大学）
14:00--14:20 質疑応答・休憩
14:20--15:50 特別講演「グラフィック表現の論理」
下嶋 篤（同志社大学）
15:50--16:10 質疑応答・休憩
16:10--17:10 発表2「Reasoning with Euler and Venn Diagrams: Theory and Experiment」
竹村 亮・佐藤 有理・峯島 宏次（慶應義塾大学）
17:10--17:30 質疑応答
司会：飯田 隆（慶應義塾大学）

入場無料　参加申込不要

主催：慶應義塾大学
「論理学とオントロジー」
オープンリサーチセンター
論理学部門
http://abelard.flet.keio.ac.jp/ORC/index.html

共催：慶應義塾大学グローバルCOE
論理と感性の先端的教育
研究拠点　論理・情報班
http://www.carls.keio.ac.jp/

問合せ先　慶應義塾大学　人文GCOE　論理・情報施設
philosophy@abelard.flet.keio.ac.jp